琉球大学学術リポジトリ

漂着ゴミによる生態系損失の経済的価値評価

メタデータ	言語:
	出版者: 琉球大学21世紀COEプログラム
	公開日: 2009-04-16
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 藤田, 陽子, 大城, 肇, Fujita, Yoko, Oshiro, Hajime
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/9864

PE-6

漂着ゴミによる生態系損失の経済的価値評価
(Economic Evaluation of Ecological Damages by Wastes on the Shores)

*藤田陽子・大城 肇**
(Yoko Fujita, Hajime Oshiro)

*琉球大学法文学部　**琉球大学観光産業科学部

本研究では，漂着ゴミに起因する島嶼生態系被害とそれらを通した社会経済的影響に関する評価モデルの構築を試みた．

近年，国内外において海岸線に漂着するゴミの量が急激に増加しており，沿岸の景観や自然生態系への被害が深刻化している．また，こうした影響が地域の生活・経済活動に様々な損害を与えるという状況も発生している．加えて，漂着ゴミはいわゆる越境汚染となるケースが多く，最終的な漂着先である海岸を有する自治体は，自らに発生責任がない場合でも適正処分義務を負っているため，ゴミ処理という非生産的なサービスに対して追加的な財政支出を強いられている．

漂着ゴミ自体を負のストック，漂着ゴミの発生・処理の段階をフローと捉えた場合，これらを基点とする経済的・物質的連関は次のとおりとなる．河川上流あるいは海外・海洋上で発生した漂着ゴミは，①漂着後に適切に回収・処理される部分，②回収されずに海岸線に溜まる部分，③河川・海洋で漂流する部分に大別される．①に関わる費用は，回収・処理費用として地元自治体の財政負担に帰着する．②については，海岸の景観や生態系に影響を及ぼし，漁業や観光業等の地場産業に物質的・経済的損失を与える．③は船舶の故障を招くなど地域住民の日常生活や経済活動を阻害することによって物質的・経済的損失を引き起こす．

漂着ゴミ問題は一般的にその処理費用負担の部分のみがクローズアップされるが，実際には自然環境の公益的機能の低下に起因するその他の社会経済活動への影響も無視し得ない．本モデルは，漂着ゴミを媒介として起こる自然環境面と社会経済面の変化を統合してシミュレーションできるツールとして機能する．換言すれば，人間活動の結果として発生した漂着ゴミが自然生態系を劣化させ，さらにその劣化が人間の社会経済活動に影響を及ぼす，すなわち「人間－環境－人間」というフィードバック・ループを構築することを目指す．